



立命館大学

J-PEAKS Digest



立命館大学は文部科学省令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択され、ビジョンとして掲げる「社会共生価値を創出する次世代研究大学」を目指して大学改革を推進しています

巻頭 インタビュー

立命館大学が描く「次世代研究大学」 ウェルビーイングとイノベーションの未来

立命館大学 副学長 三宅 雅人



立命館大学は、研究力向上と社会的価値創出を両輪とする「次世代研究大学」構想のもと、イノベーション創出と社会実装を大学の中核機能として位置づけています。本学は、身体圏 (Body Sphere) 研究領域を起点に、スポーツ健康科学、脳科学、VR/MR技術、データサイエンスなどの立命館大学および連携機関の強みを融合し、ウェルビーイング課題の解決に挑む世界水準の研究拠点を形成しています。具体的には、びわこ・くさつキャンパスに整備する「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ (CVIC)」を核に、超大型VR/MR空間や3テスラのMRIなど最先端設備を導入し、産学官民連携による学際共創研究を推進しています。また、地域課題から地球規模課題までを対象とする「グラスルーツイノベーションプラットフォーム」を構築し、企業・自治体・市民を巻き込んだ実証研究を展開。これにより、身体圏研究発のスタートアップ創出や新産業形成を滋

賀県から世界へ発信します。さらに、横断型データプラットフォーム (DPF) による研究データ連携、GICを活用した試作・評価支援、独自投資ファンドによる起業支援を通じ、社会実装力を強化。10年後には外部資金獲得額を倍増し、国際標準化や博士アントレプレナー人材育成を実現することで、地域と世界をつなぐイノベーションハブとしての役割を果たしていきます。現在、すでに次の3つの部会を設置、運営しています。身体圏研究部会では、身体圏研究を発展させる研究テーマ設定・研究プロジェクト組成、CVICを拠点とした共同研究などの研究クラスターの創出、人文・社会・自然科学など分野横断型の協調知による研究展開を進めています。イノベーション・社会実装推進部会では、イノベーション創出・社会実装に向けた方策の検討・仕組みづくり、博士人材育成部会では、社会共創学環 (仮称) の教育プログラムの具体化・豊富化、身体圏インターンシッププログラムの開発、URA・技術系人材の養成などの検討を進めています。立命館大学はJ-PEAKS採択を契機に、これらの取り組みを強力に推進し、研究、イノベーション創出、人材育成で世界を牽引する「次世代研究大学」へと飛躍いたします。今後の立命館大学の取り組みにご期待ください。

Topics

1

CVIC施設見学ツアーを開催しました

2025年11月17日～12月15日

■ 学内で広がるJ-PEAKSへの関心の高まりと連携の可能性

学内教職員を対象にCVIC見学ツアーを開催しました。本ツアーはJ-PEAKS事業やCVICの役割を広く知っていただくことを目的に、11月末から12月初旬に4回実施し、好評を受けてさらに2回追加開催しました。びわこ・くさつキャンパスだけでなく、他キャンパスからの教職員の参加も非常に多く、学内の関心の高さがうかがえました。当日は施設案内に加え、最先端映像技術「ボリュメトリックビデオ（Volu☆Me!）」の体験も実施。活用に関する質問も寄せられ、今後の連携やアイデア創出への可能性が感じられる機会となりました。J-PEAKS事業の推進に向けて学内での理解と連携を深める重要な取り組みとなりました。



Topics

2

第1回 PEAKS大学経営セミナーにおいて
豊田常務理事と酒井常務理事が講演しました

2025年12月22日

■ 本学の大学改革の取り組みを「日本型大学成長モデル」へ

2025年12月22日に開催されました、大学支援フォーラムPEAKSの構成員を対象とした内閣府主催の「第1回PEAKS大学経営改革セミナー イノベーションエコシステム」において、豊田 耕三常務理事（財務担当）と酒井 克也常務理事（総務担当）が『「次世代研究大学」の実現を目指して-大学の知によるソーシャルインパクトの創出-』と題して講演しました。

今回のセミナーは、立命館を含む複数の登壇者からの事例紹介を受け、セミナーに参加した他大学等における経営改革を考える機会として企画されました。立命館からは、2022年度PEAKS実証事業（日本型大学成長モデルの具体化及びそれを支える大学経営人材の確保・育成に係る実証事業）の支援を受けて構想した「大学が主体となりファンド・実証実験を元に外部の知と内部の知を融合させるモデル」を説明しました。

豊田常務理事からは学納金が収入の70%以上を占める現在の私立大学における収入構造の持続可能性に課題を感じたことをきっかけとして、財源の多様化、提供する価値の多様化・可視化、ソーシャルインパクトの創出・拡大を標榜し、その取り組みとして立命館起業・事業化推進室（RIMIX）の設置、ソーシャルインパクトファンド（RSIF）の設置・運用を行ってきたこと、これらの取り組みにより知の循環モデルと新しい私立大学の経営・財政モデルの構築を目指すことを示しました。

酒井常務理事からはPEAKS実証事業以降の展開として経済産業省「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」によるグラスルーツイノベーションセンターの開設、社会的インパクトを創り出すソーシャルインパクトファンドの投資額増額、財源の多様化を支える組織として法人を横断する産学連携推進本部の設置などについて示しました。PEAKS実証事業をきっかけとしてファンド機能の拡充、場づくり（施設）、組織再編が進み、今後はさらにそれらを深化させていくと締め括りました。本学はJ-PEAKS事業の実施を通じて、これらの取り組みをさらに強力に推進してまいります。

Topics

3

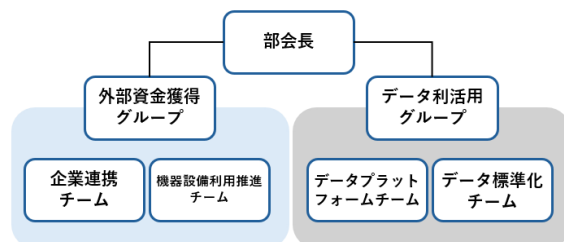
第2回 イノベーション・社会実装推進部会を開催しました

2025年12月19日

研究推進とイノベーション創出・社会実装推進に向け、体制構築と運用方針について協議

部会では、外部資金獲得とデータ利活用を重点領域とする体制案を協議しました。企業連携やデータ標準化を進めるため、前半期は特に外部資金獲得とデータ活用に注力する方針を確認しました。機器整備については、学内・連携機関から段階的に利用を広げ、将来的には企業との共同研究へ展開する方向性を確認し、利用者の属性に応じた利用スキームや広報などについて議論しました。さらに、人を対象とする研究を推進するための機器が多く導入されることを踏まえ、既存の倫理審査委員会の活用に加え、個人情報扱うデータ利活用に関する専門委員会の新設も視野に入れて検討を進めることを確認しました。

次回は3月の開催を予定しており、第2回で議論した体制を踏まえ、施設やデータの利活用に向けた運用ルールの具体化を進め、イノベーション創出・社会実装推進の取り組みを加速します。



イノベーション・社会実装推進部会 体制図

Topics

4

第2回 博士人材育成部会を開催しました

2025年12月23日

社会共創学環（仮称）の設置と人材育成戦略を協議

部会では、部会長である中本副学長より博士人材育成のための新たな学位プログラムとして立命館大学に2028年度から設置予定の「社会共創学環（仮称）」の構想および現在の議論状況について説明しました。研究科等連係課程制度に基づいて、既存リソース（既存教員の兼任や既存施設）を活用し、産学連携を軸に実践力を育成する方針を示しました。教育の仕組みについては、対面とオンラインを組み合わせた指導の導入、企業・自治体からの人材受け入れや早期修了制度も視野に入れ、柔軟に検討を進めていく旨を説明しました。

また、部会では立命館大学が文部科学省の「研究開発マネジメント人材に関する体制整備事業」に体制強化機関として採択されたことにも触れ、人事制度改革による好循環モデル構築を進め、博士人材の多様なキャリアパスに繋げることを示しました。



国際連携セミナー「Sports Dietetics and Supplementation: The connection between research and practice」を開催しました

2025年12月17日

■ ポズナン大学 Krzysztof Durkalec-Michalski先生による国際連携セミナーを開催

本セミナーでは、ポーランド・ポズナン大学のクリストフ・デュカレック・ミハルスキ先生をお招きし、アスリートのパフォーマンス向上を狙いとしたスポーツ栄養学的アプローチに関する多くの研究成果をご発表いただきました。また、ご自身がポーランドナショナルチーム（ゴルフやローイングなど）に管理栄養士のチーフスタッフとして現場の栄養サポートをしている実践的な活動についてもご紹介いただきました。さらに、研究の面白さや、アクティブに活動することの重要性についても熱く話していただきました。質疑応答では、参加した学生・院生から多数の質問が寄せられ、活発な議論が展開されました。特に印象的だったのは、クリストフ先生はこれまで実施された研究成果をすべてアスリートに還元してきているということです。明確なリサーチクエスチョンを設定し、常に実践への応用を意識した質の高い研究が進められていることは、その自信の証しであり、参加した学生・院生に大きな刺激を与えていただきました。

今回の学びを活かし、国際的なネットワークをさらに深化させ、教育と人材育成の充実および高度化を図ってまいります。



◆「身体圏研究シンポジウム」開催のお知らせ

2026年3月6日（金）15:00～18:00、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて「身体圏研究シンポジウム」を開催します。身体圏研究の最前線を紹介する講演・パネルディスカッションを予定しております。

同日14:00～は、CVIC見学ツアーも企画しております（先着30名）。

参加をご希望の方は、右のQRコードよりお申し込みください（締切：2026年2月24日）。たくさんのご参加をお待ちしております。



■チラシ： <https://www.ritsumei.ac.jp/events/file/260123-0039-3.pdf>

立命館×J-PEAKS【身体圏研究】についてはこちら



立命館大学
J-PEAKS
紹介動画(2分)



立命館大学
J-PEAKS
HP



身体圏研究
シンポジウム
(第1回)



身体圏研究
シンポジウム
(第2回)



身体圏研究
論文
(日本語)